

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤和久
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4308 公民館管理事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	010000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 また、施設修繕やLED照明の導入、ガス器具の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000	
	実績	81,251					
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		15,765	18,411
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	939	1,326
一般財源	14,826	17,085	
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.6	0.6
	会計年度(パート)	1.0	1.2
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	1,977.0	1,977.0
	会計年度(パート)	1,541.0	1,849.2
	計	4,940.2	5,248.4
市民一人当たりの経費	0.4	0.5	
総額	20,705.2	23,659.4	

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8,909	消耗品費320、燃料費290、光熱水費5,357、修繕料2,942
12節 委託費	889	清掃業務119、電気保安業務委託263、樹木伐採等委託等507
14節 工事請負費	414	井上地域公民館落雪防止施設改修工事414
18節 負担金補助及び交付金	8	講習会受講料負担金8
その他	5,545	手数料966、機器賃借料2,226、備品購入費964 他

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11,471	燃料費315、光熱水費6,106、修繕料4,600他
12節 委託費	1,365	清掃業務175、電気保安業務委託263、樹木伐採等委託料238等
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10	防火管理者講習会受講負担金10
その他	5,565	手数料1,000、機器賃借料1,580、備品購入費1,200等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の学習や交流の場であり避難所としての機能を有し、市民に欠くことのできない施設である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設機能の充実、利便性、安全性を高め、施設の適切な維持管理に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担の観点から冷暖房使用料を徴収している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍により様々な制約が生じたが、感染対策を講じて使用するよう周知し、安心、安全な施設となるよう維持管理に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
社会教育法で地域住民のために設置が定められている施設である。継続して効率的な管理に努めるとともに、安全・安心、より快適な施設環境を提供していく必要がある。		公民館施設として、また、災害時の避難施設として、利用者の立場で施設環境の改善を図る必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山健一
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4309 公民館活動事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館活動事業										
事業目的						事業概要・効果						
少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。						市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。 地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術講座等・他課との連携事業の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり ・組織改正に伴う事業等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000	
	実績	81,251					
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		77,513	84,698
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1
一般財源		77,513	84,697
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	会計年度(フル)	8.7	8.7
	会計年度(パート)	11.1	11.1
人員コスト	正規職員	4,266.6	4,266.6
	会計年度(フル)	28,666.5	28,666.5
	会計年度(パート)	17,105.1	17,105.1
	計	50,038.2	50,038.2
市民一人当たりの経費		2.4	2.6
総額		127,551.2	134,736.2

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,540	講師謝礼1,540
10節 需用費	369	消耗品費318、食糧費51
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	11,512	公民分館交付金8,571、地域づくり交付金2,800等
その他	64,092	職員人件費等63,555

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,650	講師謝礼2,600 等
10節 需用費	466	消耗品366 等
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,348	公民分館交付金10,000、地域づくり交付金3,348 等
その他	68,234	職員人件費67,316 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民一人一人が生きがいをもち、充実委した生活を送れるよう、生涯学習の充実を図る必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	コロナ禍で休止・縮小した事業について精査し、感染症対策を考慮したうえで持続可能な運営に改めていく必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ禍の影響により、オンライン開催等効率的な事業運営を図ることができた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2021年度は新型コロナウイルス変異株の流行により、地域公民館・分館とも事業の中止・縮小を余儀なくされた。2022年度についてはある程度収束状態にあることから、これまでの事業を精査し、市民にとって魅力ある事業展開と、継続可能な形での実施を推進する必要がある。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

社会教育法に定める各種事業の実施により公民館の目的を果たす必要がある。コロナ感染症の影響により事業全体が縮小傾向となったが、コロナ下にあっても学びが止まらないよう、持続可能な形式での事業実施を推進しなければならない。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

これまでの事業を総括し、市民にとってより身近に必要な活動を進める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 4年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中澤和久
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4316 臥竜山公会堂管理事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費					
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。				自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。 老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について、適切な維持管理を行う。 抜本の見直し（指定管理の導入による経費縮小）の動向に注視しながら、維持管理に係る業務量を精査し、事業費への反映を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	臥竜山公会堂の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	500	500	3,000	3,500	3,500	
	実績	1,288					
指標選定の理由	平成29年度3,062人、平成30年度4,086人、2019年度2,923人、2020年度203人を参考とした。						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		1,418	2,060
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	14	250
一般財源		1,404	1,810
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	659.0	659.0
	会計年度(パート)	308.2	308.2
	計	967.2	967.2
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,385.2	3,027.2

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	867	消耗品費77、燃料費27、光熱水費733外
12節 委託費	109	支障木伐採委託料85、シルバー人材センター管理業務委託24
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	442	会計年度任用職員報酬374 等

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,249	燃料費60、光熱水費915、修繕費42外
12節 委託費	120	支障木伐採委託料85、シルバー人材センター管理業務委託35
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	691	会計年度任用職員報酬567 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の憩いの場である臥竜公園内に立地し、大きなイベントに対応する大空間を備える。民間による活用も検討したが見送られた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	コロナ禍の影響による制約が施設利用に影響している。2021年度は森上小学校の改修工事に伴う、工事期間中の森上小児童クラブの代替会場として、児童の使用により全体の利用者数は増加した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担の観点から、施設利用料に加え冷暖房使用料について徴収している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2021年度もコロナ禍の影響で成人の利用者数は昨年度と比較し微増だった。しかし、森上小学校の改修工事期間中、児童クラブの代替会場として、関係機関に協力したため利用者数は増加した。また、民間活用を見据えて関係課とともに検討したが、条件が合わず見送りとなった。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
コロナ下で引き続き一般利用が激減している。施設管理の負担が大きいため利用方法含め運営改善が必要である。		公民館としての位置付けやあり方を臥竜公園全体の位置付けから再検討する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	杉山健一
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3630
事務事業名	4317 生涯学習推進事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費					
	事業	010000 生涯学習推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。 				<ul style="list-style-type: none"> ●地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ●須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 ●地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 ・組織の見直しによる事業や資源等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携

指標名	出前講座の延べ受講者数					単位
算式						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	3,000	4,000	5,000	6,000	8,000
	実績	2,559				
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ。					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮					
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		13,944	14,525
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	97	75
一般財源		13,847	14,450
人員数(人)	正規職員	3.3	3.3
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人員コスト	正規職員	23,466.3	23,466.3
	会計年度(フル)	3,295.0	3,295.0
	会計年度(パート)	1,541.0	1,541.0
	計	28,302.3	28,302.3
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		42,246.3	42,827.3

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,132	講師謝礼388、謝礼202、記念品代542
10節 需用費	2,828	消耗品費1,166、食料費15、印刷製本費1,648
12節 委託費	498	映像編集委託料110、成人式インターネット同時配信369 その他19
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,833	長野県社会教育委員連絡協議会負担金21、新成人イベント実行委員会負担金1,562、婦人会補助金250
その他	7,653	職員人件費等6,071

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,438	講師謝礼645、謝礼253、記念品代外550
10節 需用費	3,493	消耗品費1,257、食料費51、印刷製本費2,185
12節 委託費	505	委託料505
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	516	負担金66、補助金450
その他	8,573	職員人件費等8,337

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地域の文化等を学び、継承していく人材を育成するため、多様な学びの機会と学んだことを実践に生かしていくための活動支援を継続する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	コロナ禍により従来と同じような活動が難しくなっているが、オンラインの活用等、新しい事業が育ってきている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	大学等の出前講座を活用し、コストをかけずに優れた講師を依頼している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2021年度については新型コロナウイルスの変異株流行に伴い、事業の中止や縮小、施設閉鎖等が断続的に発生し、参加者の減少が避けられない状況だった。

2022年度については流行が収束傾向にあることから、市民の要望を踏まえつつ、魅力ある事業展開と持続可能な形での開催に努めていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市民ニーズを捉えた魅力的な学びの提供及び発信による事業の拡大を図り、コロナ下にあっても学びが止まらないよう持続可能な形式での事業推進をしていく必要がある。</p>		<p>生涯学習は市民力の維持と成長に不可欠であり、これまでの取組を糧に事業推進をしていく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤和久
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	15903 生涯学習センター管理事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	010000 生涯学習センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。生涯学習センターの施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 施設修繕やLED照明の導入、備品等の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。 また、全施設において冷暖房等使用料の実費を徴収している。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。照明のLED化を進め、経費削減、施設環境の整備を図った。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000	
	実績	81,251					
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		23,031	27,659
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	587	963
一般財源		22,444	26,696
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.7	0.9
人員コスト	正規職員	1,422.2	1,422.2
	会計年度(フル)	329.5	329.5
	会計年度(パート)	1,078.7	1,386.9
	計	2,830.4	3,138.6
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		25,861.4	30,797.6

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	7,251	消耗品費1040、燃料費261、光熱水費3,007、修繕料2,943
12節 委託費	1,611	エレベーター保守点検委託料792、電気保安業務委託料299外
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14,169	会計年度任用職員報酬6,855外

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	7,909	消耗品費1,064、燃料費346、光熱水費3,499、修繕料3,000
12節 委託費	1,854	エレベーター保守点検委託料792外
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,896	会計年度任用職員報酬9,156外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の学習の場、中央地域の市民交流の場、かつ避難所としての機能を果たすため、市民に欠くことのできない施設。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設機能の充実、利便性、安全性を高め、施設の適切な維持管理に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担の観点から冷暖房使用料を徴収している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍により様々な制約が生じたが、感染対策を講じて使用するよう周知し、安心、安全な施設となるよう維持管理に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>中央地域公民館機能も兼ねる施設（社会教育法で設置を定めるもの）である。継続して効率的な管理に努めるとともに、安全・安心、より快適な施設環境を提供していく必要がある。</p>		<p>生涯学習推進施設として、各世代の利用が促進できるよう施設管理を進める必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 4年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤和久
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	15929 生涯学習センター整備事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	980000 生涯学習センター整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
生涯学習センターの施設整備により、利用者により快適で安全な環境で学習や交流を深める場とする。あわせて、災害時の避難所としての機能を高めるとともに、適切な修繕などにより施設の長寿命化と維持管理費の低減を図る。						生涯学習センターの適切な維持管理のため施設整備を行う。 ・外壁塗装により施設の長期利用と、美観の向上を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
エレベーター改修工事及び2021年度に工事予定の外壁改修工事設計委託業務を実施した	生涯学習センターの外壁、防水等改修工事を実施した。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
未定	未定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
未定	未定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		26,400	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	23,700	0
	その他	0	0
一般財源		2,700	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.0
人員コスト	正規職員	711.1	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	154.1	0.0
	計	865.2	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.0
総額		27,265.2	0.0

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	26,400	生涯学習センター防水等改修工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	施設の長寿命化及び景観維持のために必要不可欠な改修ができた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	公共施設等総合管理計画個別計画に沿った施設の適切な整備を行った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	財源として公共施設等適正管理推進事業債を活用した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の適切な維持管理のため、有利な財源を活用しながら計画的に再整備・修繕に取り組むことができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>公共施設等総合管理計画個別計画に沿った施設の大規模修繕を有効な財源を確保し行うことができた。今後も適切な施設の維持管理に努めていく。</p>		<p>公共施設等適正管理推進事業債を活用し、大規模修繕に取り組むことができた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

指標名	旧上高井郡役所の延べ使用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	10,000	12,000	16,000	16,000	16,000	
	実績	9,857					
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 平成29年度15,952人、平成30年18,886人、2019年度 17,368人、2020年度 9,260人						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		9,810	9,917
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	993	900
一般財源	8,817	9,017	
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	3,295.0	3,295.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,295.0	3,295.0
市民一人当たりの経費	0.3	0.3	
総額	13,105.0	13,212.0	

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,875	光熱水費918、修繕料583 等
12節 委託費	4,883	宿日直業務委託3,629等
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,052	会計年度任用職員報酬1,944等

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,938	光熱水費1,009、修繕料540 等
12節 委託費	4,732	宿日直業務委託4,526 他
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,247	会計年度任用職員報酬2,013他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の交流施設として活用しながら、歴史的建造物としての適切な維持管理と活用を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	社会教育団体をはじめ多くの市民・団体が利用している。併せて須坂市文書館の事務室等や映画ポスター等の展示施設としても活用している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	シルバー人材センターへの日直業務や除草作業の委託により効率的な施設管理に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の影響により、臨時休館や各部屋の利用者数の制限は引き続きあったが、2020年度に比べ利用者数は微増することができた。また、休館に伴うシルバー人材センターへの日直業務委託の業務量の削減など、効率的な施設管理にも努めた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

歴史的建造物としての適切な維持管理と活用を図っているが、情報発信を強化し活用の拡大を図りたい。

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

2次評価コメント

市民の貴重な財産としての文書を保存活用する施設として、管理方法や活用方法等について検討する必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--